



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 扶桑化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4368 URL http://www.fusokk.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 佳信  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉田 真一 TEL 03-3639-6311  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	31,264	△3.5	6,933	△7.4	7,047	△10.8	4,902	△11.0
2019年3月期第3四半期	32,402	7.0	7,486	△8.3	7,899	△4.0	5,510	△4.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 4,723百万円 (△11.5%) 2019年3月期第3四半期 5,334百万円 (△14.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	138.07	—
2019年3月期第3四半期	155.21	—

(参考) 減価償却前連結営業利益（連結営業利益＋減価償却費）

2020年3月期第3四半期 10,111百万円 2019年3月期第3四半期 9,426百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	67,799	58,432	86.2	1,645.81
2019年3月期	64,457	55,342	85.9	1,558.77

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 58,432百万円 2019年3月期 55,342百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2020年3月期	—	23.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	2.2	7,500	△19.2	7,600	△22.9	5,200	△24.4	146.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

(参考) 減価償却前連結営業利益（連結営業利益＋減価償却費）

通期 12,600百万円 (2.2%)

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）簡便な会計処理および四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	35,511,000株	2019年3月期	35,511,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,236株	2019年3月期	7,202株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	35,503,787株	2019年3月期3Q	35,503,818株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) その他	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経済環境は、米国経済は引き続き底堅く推移しました。しかし、米中貿易摩擦は部分合意がなされる等、短期的な鎮静化の動きも見られますが、中東情勢等の地政学的リスクが増大し、景気拡大の継続に対する不安は依然残っています。中国経済は経済政策により底打ちの兆しが見られますが、貿易摩擦の影響により景気減速は続いています。欧州経済は、英国のEU離脱問題は収束に向かいつつあるものの、中国経済減速の影響は継続しています。日本経済においては、半導体市場回復の兆しもあり、回復基調は続いているものの、米中貿易摩擦の影響による中国経済の停滞、中東・東アジアを中心とした地政学的リスクの高まりや新型肺炎の経済・為替への影響等、先行き不透明な状況は継続しています。

このような情勢下、当社グループは成長を継続するための経営基盤のさらなる強化に取り組みました。増加が見込まれる当社製品の需要に対応するため、生産能力の増強、物流・生産体制の強化、原料の安定確保、コストダウン、新製品の開発、そして海外展開を中心に拡販に取り組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は市況や為替等の影響を受け31,264百万円(前年同期比3.5%減、1,137百万円減)となりました。営業利益は売上の減少、減価償却費等のコストアップの影響で6,933百万円(同7.4%減、553百万円減)、経常利益は営業利益の減少に加え、前第3四半期連結累計期間に多額の為替差益を計上した影響が減少要因となり、7,047百万円(同10.8%減、851百万円減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、4,902百万円(同11.0%減、608百万円減)となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

## (ライフサイエンス事業)

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が18,504百万円(前年同期比4.9%減、944百万円減)、営業利益は3,560百万円(同36.0%増、943百万円増)となりました。

原料価格に連動して販売価格が変動する契約となっている製品の販売単価が下がったこと、円高が海外子会社の売上高の換算に影響を与えたこと、天候不良による飲料用途向け製商品の伸び悩み、中国経済の影響による工業用途向け販売の停滞等により、売上高は前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益は継続的な価格改定により販売価格の適正化が進展したこと、海外子会社の業績が堅調に推移したこと、原料価格の低下、そして円高による輸入価格の低下等により、前四半期連結累計期間を上回り、減収増益となりました。

## (電子材料および機能性化学品事業)

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が12,760百万円(前年同期比1.5%減、193百万円減)、営業利益は4,303百万円(同25.7%減、1,486百万円減)となりました。

ナノパウダー等の半導体研磨分野以外に使用される製品の販売は引き続き底堅く推移したものの、上半期における半導体市場停滞の影響が大きく、売上高は前四半期連結累計期間を下回りました。営業利益は、設備投資に伴う減価償却費の増加、増産体制確立のための要員確保による人件費の増加、売上高の減少による影響等により、前四半期連結累計期間を下回り、減収減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3,342百万円増加し、67,799百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ252百万円増加し、9,367百万円となりました。これは主に、未払金の増加によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ3,090百万円増加し、58,432百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月9日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

## (4) その他

(重要な設備の新設等)

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設等について、当第3四半期連結累計期間に変更があったものは、次のとおりです。

会社名 事業所 (所在地)	セグメントの 名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方 法	着手及び完了	
			総額 (百万円)	既支払額 (百万円)		着手 (年月)	完了 (年月)
鹿島事業所	ライフサイエ ンス事業	リンゴ酸製造 設備新設 (注) 1	5,800	3,177	自己資金 (注) 3	2017年11月	2019年7月
京都事業所	電子材料および 機能性化学品事 業	超高純度コロ イダルシリカ の製造ライン 増設 (注) 1、2	8,258	8,075	自己資金	2017年6月	2019年7月

(注) 1. 既支払額を変更しています。

2. 総額を変更しています。

3. 自己資金の中には、2015年12月に実施しました公募増資により調達した資金が含まれています。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,864,205	14,162,498
受取手形及び売掛金	10,885,116	11,500,060
有価証券	100,020	130,064
商品及び製品	6,399,582	6,329,991
仕掛品	297,055	336,571
原材料及び貯蔵品	1,354,411	1,360,057
その他	776,111	378,975
貸倒引当金	△8,138	△8,087
流動資産合計	30,668,365	34,190,132
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,311,337	8,490,850
機械装置及び運搬具（純額）	7,736,100	7,572,482
土地	6,892,157	6,890,777
建設仮勘定	6,101,923	6,136,850
その他（純額）	403,475	369,941
有形固定資産合計	29,444,995	29,460,903
無形固定資産	2,390,938	2,281,404
投資その他の資産		
投資有価証券	929,894	984,812
長期前払費用	133,637	64,056
繰延税金資産	648,793	588,508
退職給付に係る資産	75,102	55,686
その他	169,401	178,016
貸倒引当金	△3,930	△4,000
投資その他の資産合計	1,952,898	1,867,080
固定資産合計	33,788,832	33,609,388
資産合計	64,457,197	67,799,520

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,895,699	1,958,776
未払金	3,272,518	3,737,530
未払法人税等	952,085	615,864
賞与引当金	500,511	335,011
役員賞与引当金	68,000	80,612
修繕引当金	268,849	226,364
その他	341,162	615,023
流動負債合計	7,298,826	7,569,182
固定負債		
繰延税金負債	61,334	63,687
退職給付に係る負債	1,652,314	1,622,792
資産除去債務	8,289	8,289
その他	94,057	103,080
固定負債合計	1,815,996	1,797,850
負債合計	9,114,823	9,367,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,334,047	4,334,047
資本剰余金	4,820,722	4,820,722
利益剰余金	44,573,696	47,842,530
自己株式	△4,251	△4,336
株主資本合計	53,724,215	56,992,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	390,803	423,338
繰延ヘッジ損益	△701	2,477
為替換算調整勘定	1,228,057	1,013,708
その他の包括利益累計額合計	1,618,159	1,439,523
純資産合計	55,342,374	58,432,487
負債純資産合計	64,457,197	67,799,520

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	32,402,193	31,264,483
売上原価	19,705,693	19,384,205
売上総利益	12,696,500	11,880,278
販売費及び一般管理費	5,210,216	4,947,057
営業利益	7,486,283	6,933,221
営業外収益		
受取利息	48,610	57,169
受取配当金	22,884	24,906
受取手数料	50,766	7,320
為替差益	269,549	1,193
その他	30,038	27,984
営業外収益合計	421,848	118,574
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	3,583	70
減価償却費	1,198	1,331
その他	3,916	2,610
営業外費用合計	8,698	4,012
経常利益	7,899,433	7,047,783
特別利益		
固定資産売却益	—	39
投資有価証券売却益	4,785	—
受取保険金	—	44,711
関係会社株式売却益	9,224	—
補助金収入	—	13,637
特別利益合計	14,009	58,388
特別損失		
固定資産除却損	53,755	113,632
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	4,169	—
特別損失合計	57,925	113,632
税金等調整前四半期純利益	7,855,517	6,992,539
法人税、住民税及び事業税	2,308,524	2,043,144
法人税等調整額	36,105	47,386
法人税等合計	2,344,629	2,090,531
四半期純利益	5,510,888	4,902,008
非支配株主に帰属する四半期純利益	277	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,510,611	4,902,008



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,510,888	4,902,008
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△98,921	32,534
繰延ヘッジ損益	14,516	3,178
為替換算調整勘定	△91,557	△214,348
その他の包括利益合計	△175,962	△178,635
四半期包括利益	5,334,925	4,723,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,334,648	4,723,372
非支配株主に係る四半期包括利益	277	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,855,517	6,992,539
減価償却費	1,940,005	3,178,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4,693	102
賞与引当金の増減額(△は減少)	△297,030	△164,816
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	72,300	12,612
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	35,562	△10,145
役員退職功労引当金の増減額(△は減少)	△936,450	—
修繕引当金の増減額(△は減少)	19,634	△42,485
受取利息及び受取配当金	△71,495	△82,075
為替差損益(△は益)	△193,009	12,244
固定資産売却損益(△は益)	—	△39
固定資産除却損	53,755	113,632
投資有価証券売却損益(△は益)	△4,784	—
投資有価証券評価損	4,169	—
関係会社株式売却益(△は益)	△9,224	—
受取保険金	—	△44,711
補助金収入	—	△13,637
売上債権の増減額(△は増加)	△641,800	△668,766
たな卸資産の増減額(△は増加)	△169,055	△51,314
仕入債務の増減額(△は減少)	△256,448	76,848
未払金の増減額(△は減少)	△116,429	△280,421
その他	△185,444	563,820
小計	7,104,467	9,592,035
利息及び配当金の受取額	67,761	78,506
保険金の受取額	—	44,711
補助金の受取額	—	13,637
法人税等の支払額	△3,224,017	△2,290,981
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,948,212	7,437,909
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△444,667	△400,535
定期預金の払戻による収入	219,868	642,610
有価証券の取得による支出	△100,035	△336,006
有価証券の売却による収入	480,326	307,050
有形固定資産の取得による支出	△10,483,800	△2,004,828
有形固定資産の売却による収入	—	588
無形固定資産の取得による支出	△1,432,158	△402,459
投資有価証券の取得による支出	△8,367	△7,235
投資有価証券の売却による収入	8,035	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	5,608	—
短期貸付金の回収による収入	3,580	—
長期貸付けによる支出	△122	—
長期貸付金の回収による収入	—	51
その他	△636	△19,268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,752,368	△2,220,033

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△103	△84
配当金の支払額	△1,631,047	△1,631,062
非支配株主への配当金の支払額	△400	—
リース債務の返済による支出	△4,233	△6,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,635,784	△1,637,330
現金及び現金同等物に係る換算差額	158,542	△50,686
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△9,281,398	3,529,858
現金及び現金同等物の期首残高	18,930,340	10,223,662
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,648,942	13,753,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,448,855	12,953,338	32,402,193	—	32,402,193
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	141	141	△141	—
計	19,448,855	12,953,479	32,402,334	△141	32,402,193
セグメント利益	2,617,739	5,790,816	8,408,556	△922,272	7,486,283
減価償却費	490,834	1,433,723	1,924,558	15,446	1,940,005

(注)1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△922,274千円、その他1千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料およ び機能性化学 品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,504,165	12,760,318	31,264,483	—	31,264,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,504,165	12,760,318	31,264,483	—	31,264,483
セグメント利益	3,560,966	4,303,950	7,864,916	△931,695	6,933,221
減価償却費	445,108	2,720,866	3,165,974	12,674	3,178,649

(注)1. セグメント利益の調整額は、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用△931,695千円です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。